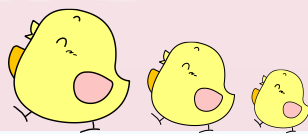


ひよこ新聞



2026年度
vol.2



鳥取市立病院
Tottori City Hospital

発行者：看護局

発行日：令和8年8月20日

プリセプティ研修の様子をお伝えします

入職して5ヶ月が経ちました。新人看護師たちは月1回の集合研修で基本的知識、技術を学び、実践の場で経験を重ねています。少しずつ自分でできることが増え、自信に繋がっています。

【5月研修】吸引・酸素吸入、膀胱留置カテーテル、安全管理(与薬)、フィジカルアセスメント、12誘導心電図 他

5月は基礎的な看護技術の研修を行いました。知識を再学習し、実践することで学びを深めることができました。



安全管理(与薬)



生体モニター



吸引

感想

- 与薬の実践では、患者さんに合わせて介入が何処まで必要かを考え、確認行動を行うことが大切と学べた
- 生体モニターのアラームが鳴ったとき、モニターを見るのではなく患者さんがどのような状態かに目を向けることが大事
- 実技を行うことで、実践への不安が少し柔らいだ。患者さんの安全を守るため今日の学びを振り返る

【6月研修】他部門の役割、連携を学ぶ

薬剤部、中央検査部、中央放射線部、リハビリテーション部などの研修と、防災訓練を実施しました。それぞれの部門で業務内容や看護に活かせるポイント・注意点などの説明を受けました。皆が熱心に担当者の話に耳を傾け、安全な看護・医療を提供するために他部門との連携が重要な事を学びました。



中央放射線部



リハビリテーション部



防災訓練

感想

- ◆ リハビリ部門では、補助具を使って患者体験をすることで患者さんに合わせたリハビリを知ることができた
- ◆ 多職種で連携する中でどこに相談したら良いか知ることができたので、困った時に相談したいと思う

【7月研修】フィジカルアセスメント（患者さんの異常に気づく）

患者さんの変化に気づく、その根拠となる観察力とアセスメント能力を学習しました。特定行為研修修了者の指導のもと、看護の場を再現してケアを経験しました。そしてその経験を振り返って共有し、学びを深めました。



感想

- ◆ 実践することで意図的に観察することの難しさ、大切さ、自分の傾向が把握できた
- ◆ 実際に患者さんに急変が生じた時どうすればいいか考えて行動すること、一人で判断しなくていいことなどたくさんの学びがあった